

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
津島市まちなか歴史・文化(駅周辺)地区

令和8年3月

愛知県津島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	区域内の平均地価	円/㎡	89,033	88,000	82,867	確定 ●	△	あり		R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路や公園の整備並びに土地利用の見直しにより一定の成果を得ることができたが、津島駅の再整備や広場整備については用地交渉が難航したことにより事業効果を得ることが出来なかった。
指標2	区域内の人口密度	人/ha	101.2	96	86	確定 ●	△	あり		R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路や公園の整備並びに土地利用の見直しにより一定の成果を得ることができたが、津島駅の再整備や広場整備については用地交渉が難航したことにより事業効果を得ることが出来なかった。
指標3	歩行者通行量	人/日	-	550	388	確定 ●	×	あり	366	R7年2月	×	新型コロナウイルス感染症による在宅勤務の定着のほか、人口減少により歩行者交通量が減少したため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	来訪者は増加していることから、主に通勤通学者数の減少が要因と思われる。新型コロナウイルス感染症による在宅勤務の定着のほか、人口減少により歩行者通行量にも影響が出ているものと考えられる。
指標4	津島駅乗降客数	人	4,709,006	5,200,000	4,000,000	確定 ●	×	あり	3,885,618	R7年8月	×	市内にあった高校の移転や新型コロナウイルス感染症による在宅勤務の定着のほか、人口減少により津島駅乗降客数が減少したため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	来訪者は増加していることから、主に通勤通学者数の減少が要因と思われる。市内にあった高校の移転や新型コロナウイルス感染症による在宅勤務の定着のほか、人口減少により乗降客数にも影響が出ているものと考えられる。
指標5	年間観覧者数	人/年	4,862	5,000	1,740	確定 ●	×	あり	1,669	R7年8月	×	新型コロナウイルス感染症の影響により観覧者数が減少したため。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新型コロナウイルス感染症の影響による観覧者数の減少を回復することはできなかった。市の来訪者は増加していることから、本施設の観覧者数を増やすため、まちなかの回遊性の向上や新たな利活用方法などを検討する必要がある。

指標6	アクセス時間	分	-	6	6	確定	●	○	あり	R 年月				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	長期未着手であった都市計画道路を開通することができ、津島神社や天王川公園へのアクセス時間を短縮することができた。引き続き愛知県と協力して、市街地に残る未整備の都市計画道路等についても整備を進める。
						見込み			なし						
指標7	年間観光客数	人/年	1,433,779	1,620,000	1,540,000	確定		△	あり	1,568,034	R7年8月	△	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数の減少はしたものの、目標値は達成しなかったが、ピーク時期であるH29時点相当の観光客数まで回復することができた。
						見込み	●		なし						

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標2					確定 見込み				R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		
その他の数値指標3					確定 見込み				R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる		

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために行う方策	都市基盤の整備継続	橋詰見越線の歩道整備工事、車道拡幅工事を実施した。	道路改良が完了したことにより、大型観光バス等の津島神社周辺へのアクセス時間を短縮することができた。	次期計画で、道路美装化・小路整備事業も引き続き実施し、良好な街並み形成と観光客の受入れ態勢の推進を目指す。
	住民を巻き込んだ施策の実施	住民が地域に愛着を持てるようにするため、シビックプライド醸成拠点整備や津島駅周辺再整備、景観計画策定にあたっては住民ワークショップ等を行い、企画段階から市の施策に携われる機会を準備した。	ワークショップで得た住民意見を、市の方針の中に取り入れることができた。	次期計画で、住民意見を取り入れた方針をもとに、拠点整備や計画策定を行っていく。
	当市の魅力となる歴史・文化の発信	天王川公園において、Park-PFIを活用した公園施設整備や藤棚改修工事を実施した。	公園施設整備や藤棚改修工事により、公園に賑わいを創出することができた。	次期計画で、引き続き公園施設整備や藤棚改修工事を完成に向けて進めていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	津島駅の再整備	津島駅前社会実験を実施し、当市の正面玄関である津島駅周辺の再整備を、企画段階から市の施策に携われる機会を準備した。	社会実験で得た住民意見を、市の方針の中に取り入れることができた。	次期計画で、津島駅東側駅前広場整備工事や津島駅全体の再整備を進める。
	目的地となる拠点の整備	天王川公園において、Park-PFIを活用した公園施設整備並びに藤棚改修工事を実施した。 また、シビックプライド醸成拠点整備においては、住民に愛着をもって利用してもらえるよう住民ワークショップ等を通じて整備方針を検討した。	天王川公園において、公園施設整備や藤棚改修工事により、公園に賑わいを創出することができた。 シビックプライド醸成拠点整備において、ワークショップで得た住民意見を、施設の整備方針に取り入れることができた。	次期計画で、引き続き公園施設整備や藤棚改修工事を完成に向けて進めていく。 また、民間事業者と連携し、シビックプライド醸成拠点の整備並びに持続可能な施設運営を行っていく。
	まちへの愛着、定住先としての魅力の増進	計画区域内へ移住された方に対して、定住補助金を交付した。	将来の定住先や市外からの移住・定住を促進し、生活環境の向上や土地の有効活用を行うことができた。	次期計画で、引き続き将来の定住先や市外からの移住・定住を促進していく。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項